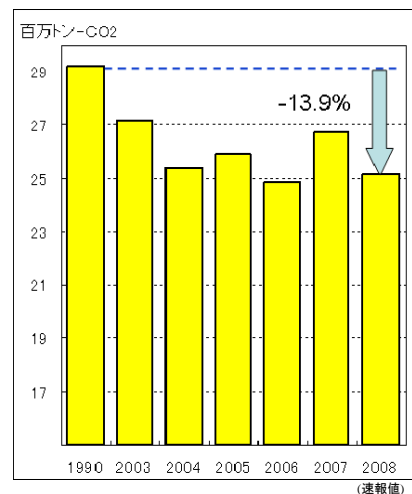


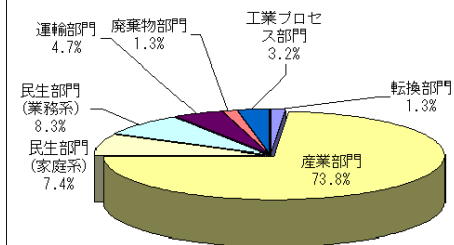
# 川崎市地球温暖化対策推進計画

## 市内の温室効果ガスの排出状況

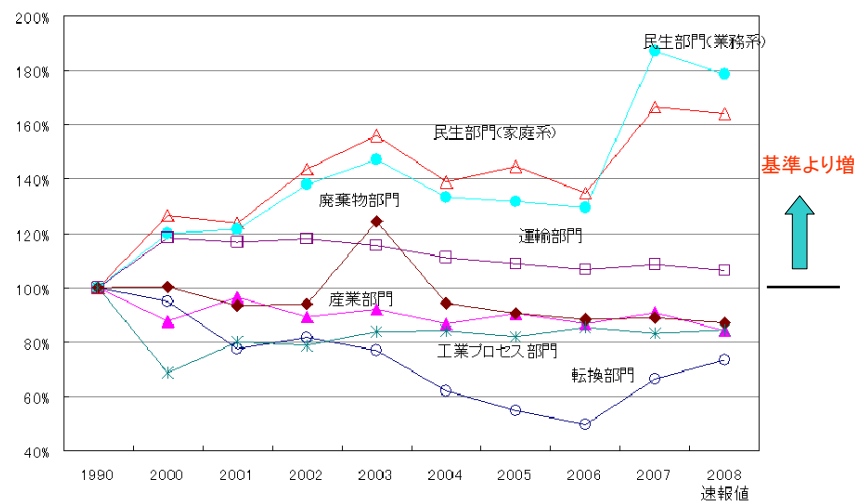
○川崎市の温室効果ガス排出状況



○川崎市の二酸化炭素排出量の部門別内訳



## 市内の二酸化炭素の部門別排出状況推移



## 計画の構成

### ● 基本計画と実施計画からなる2階層の計画

#### 地球温暖化対策推進基本計画

地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するため策定する。

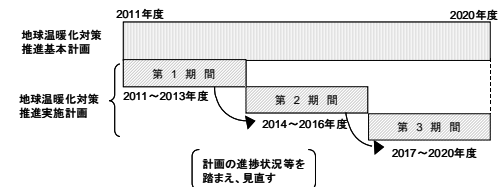
- ① 計画期間
- ② 地球温暖化対策の目標
- ③ 施策の基本的方向に係る事項

#### 地球温暖化対策推進実施計画

基本計画に基づき、地球温暖化対策の推進のために実施する措置(事務事業)を定める措置(事務事業)の特性に応じて、活動量などの定量的・定性的な目標を定める

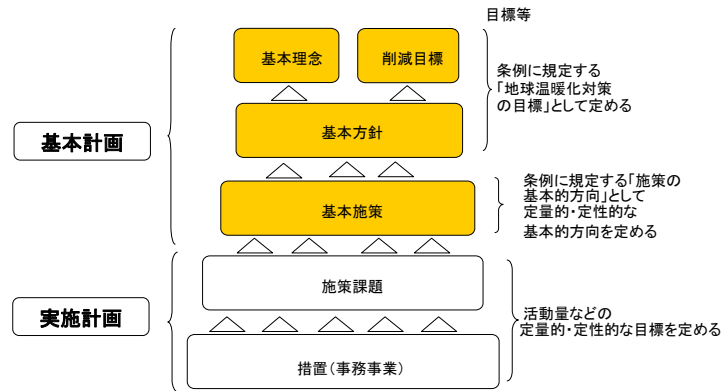
施策体系別措置：地球温暖化対策のために実施する措置(事務事業)を体系的に定める

重点プロジェクト：施策体系別計画のうち重点的に実施する措置(事務事業)を定める



## 計画の構成

### ● 施策体系



### ○ 重点プロジェクト

特に重点的に取り組むことによって、大きな施策成果の達成や課題の解決を目指すとともに事業者や市民の皆様を先導していきような施策を重点プロジェクトとして実施計画に位置付ける

5

## 川崎市地球温暖化対策推進基本計画

計画期間：2011年度～2020年度



6

## 地球温暖化対策の目標

### ● 基本理念

環境と経済の調和と好循環を基調とした持続可能な低炭素社会を構築し、良好な環境を将来の世代に引き継ぐ

### ● 削減目標

- 市域における温室効果ガス排出量の削減に取り組むとともに、本市の特徴である優れた環境技術を活かし地球全体での温室効果ガス排出量の削減に貢献することで、2020年度までに**1990年度の市域における温室効果ガス排出量の25%以上に相当する量**の削減を目指す。
- 各主体が削減目標に向かって、自らの温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、協働の取組を進めることで削減する。
- 国全体の中期目標に関する検討状況等を見極めながら、必要に応じて目標の改定について検討を行う。

7

## 地球温暖化対策の目標

### ● 基本方針

- ①効果的に温室効果ガス排出量の削減が誘導される社会・経済システムを構築する。
- ②再生可能エネルギー源、未利用エネルギーなど、地域に存在するエネルギー資源を有効かつ効率的に利用する。
- ③事業者、市民、市がそれぞれの役割に応じて削減する。
- ④協働の取組を推進する。
- ⑤地球全体での温室効果ガス排出量の削減に貢献する。
- ⑥ヒートアイランド対策に資する。

8

# 目指すべき低炭素社会のイメージ

## ● 都市イメージ

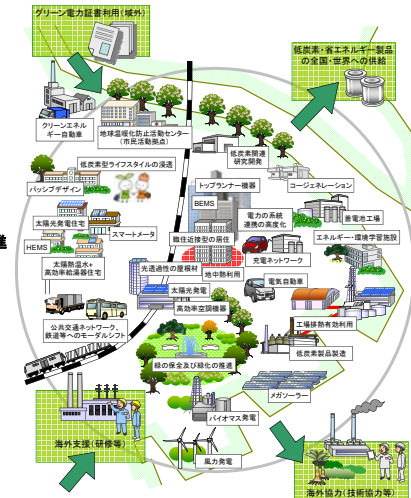
- 本市が低炭素都市のモデル
- 環境にやさしい交通ネットワークの構築、次世代自動車の利用
- エネルギーの地産地消の実現、電力の系統連携の高度化
- 緑や水辺の確保によりヒートアイランド現象の緩和
- 臨海部は世界のモデル工業地域 など

## ● 市民生活イメージ

- 環境に配慮したライフスタイルが経済的メリットとなる社会の構築
- マイバツ持参などの地球環境に配慮した考え方や行動が定着
- 住宅での太陽エネルギーの使用や効率的なエネルギー利用の促進
- 環境配慮型住宅の普及、見える化の促進
- 公共交通機関、徒歩、自転車による移動、次世代自動車の利用
- 環境配慮型ライフスタイルの定着

## ● 事業活動イメージ

- 事業活動の低炭素化を促す仕組みが組み込まれた社会の構築
- 革新的な環境技術を利用した低炭素型産業の集積
- 地球温暖化対策に資する技術の研究・開発が活発化
- 地球温暖化対策に資する製品・サービスの国内外への提供  
海外協力により世界の低炭素社会の構築に貢献



9

# 基本施策

- I 事業活動における温室効果ガスの排出量の削減の推進
- II 市民生活における温室効果ガスの排出量の削減の推進
- III 再生可能エネルギー源等の利用
- IV 低炭素都市づくりの推進
- V 循環型社会の形成の推進
- VI 交通における地球温暖化対策の推進
- VII 地球環境に係る環境教育・環境学習の推進
- VIII 緑の保全及び緑化の推進
- IX ヒートアイランド対策の推進
- X 環境技術による国際貢献の推進
- XI 環境技術の研究開発等の推進
- XII 市役所の率先取組の推進

10

# 基本施策の個別概要

## ● I 事業活動における排出量の削減の推進

### ○ 現状と課題

項目	単位:千トンCO <sub>2</sub>									
	1990年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度 確定値	2008年度 速報値
転換部門	437.9	414.9	338.7	356.4	336.2	271.3	239.2	216.1	289.8	321.3
対基準年比		-5.3%	-22.7%	-18.6%	-23.2%	-38.0%	-45.4%	-50.7%	-33.8%	-26.6%
産業部門	21,615.1	18,901.7	21,010.9	19,260.3	19,894.0	18,743.0	19,562.5	18,686.6	19,575.2	18,184.7
対基準年比		-12.6%	-2.8%	-10.9%	-8.0%	-13.3%	-9.5%	-13.5%	-9.4%	-15.9%
民生部門(業務系)	1,146.7	1,374.9	1,391.5	1,581.5	1,687.6	1,528.4	1,510.1	1,482.7	2,142.7	2,046.2
対基準年比		19.9%	21.3%	37.9%	47.2%	33.3%	31.7%	29.3%	86.9%	78.4%
工業プロセス部門	934.5	640.8	746.6	734.3	781.9	784.2	765.0	797.3	777.6	766.8
対基準年比		-31.4%	-20.1%	-21.4%	-16.3%	-16.1%	-18.1%	-14.7%	-16.8%	-15.8%
合計	24,134.1	21,332.4	23,497.7	21,932.5	22,699.6	21,326.9	22,076.9	21,182.7	22,785.2	21,338.1
対基準年比		-11.6%	-2.7%	-9.1%	-5.9%	-11.6%	-8.5%	-12.2%	-5.6%	-11.6%

※合計値は四捨五入の関係で、マトリックス表の数値及び各種の合計と必ずしも一致しない

### ○ 基本方向

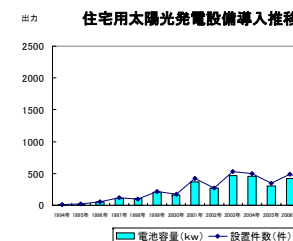
- ・事業活動に係るエネルギーの効率的な利用を促す。
- ・二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量の削減を促す。
- ・低炭素型のビジネススタイルを構築する。
- ・先端的なエネルギー関連施設の立地を契機としてエネルギー分野の産業を創出する。
- ・省資源型、省エネルギー型の産業構造を目指す。

11

# 基本施策の個別概要

## ● III 再生可能エネルギー源等の利用

### ○ 現状と課題



大規模再生可能エネルギー源利用設備設置状況及び計画

名称	発電量	設置場所
川崎大規模太陽光発電所※ (2011年設置)	20,000kW	川崎区浮島、明島
東京急行電鉄神元住吉駅	1400kW	中原区元住吉
西日放電子	1000kW	新区薬水
マックスバリュー津田山店	1000kW	高津区下作庭
大型風力発電	1,990kW	川崎区磯島
陸軍物発電	16,700kW	川崎市内3箇所 川崎区浮島、川崎区堤根、高津区新作
バイオマス発電※ (2011年設置)	33,000kW	川崎区旗町

※: 計画値

### ○ 基本的方向

- 目標: 太陽エネルギー(太陽光・熱)利用量を2020年度までに30倍にする(2005年度比)。
- ・エネルギーの地域全体での有効かつ効率的な利用を促す。
  - ・再生可能エネルギー源や地域の未利用エネルギー資源の利用を促す。
  - ・低炭素エネルギー産業との共生を促す。

12

## 浮島・扇島太陽光発電所完成予想図



提供：(株)東芝

浮島太陽光発電所 (11ha 約7MW)

(仮称)かわさきエコ暮らし未来館  
(川崎市が整備・運営)



提供：(株)日立製作所

扇島太陽光発電所 (23ha 約13MW)

## 基本施策の個別概要

### ● IV 低炭素都市づくりの推進

#### ○ 基本的方向

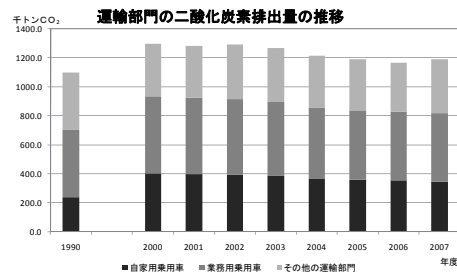
- ・ 低炭素都市づくりを誘導する。
- ・ 面的な利用など、地区単位でエネルギーの有効利用を促す。
- ・ 高いエネルギー効率を有する建築物の新築等を誘導する。



## 基本施策の個別概要

### ● VI 交通における地球温暖化対策の推進

#### ○ 現状と課題



#### ○ 基本方向

- ・ 環境にやさしい交通ネットワークを構築する。
- ・ 公共交通機関に依拠した交通ネットワークを構築する。
- ・ 自動車から発生する温室効果ガス排出量の削減を推進する。



## 基本施策の個別概要

### ● X 環境技術による国際貢献の推進

#### ○ 基本的方向

- ・ 国際的な環境活動や環境技術の移転を通じ、地球全体での温室効果ガス削減に貢献する。

◎地球全体での温室効果ガス削減の推進

◎国際的な環境保全活動への支援・連携

◎環境技術の海外移転の促進



川崎国際環境技術展

# 地球全体での温室効果ガス排出量の削減

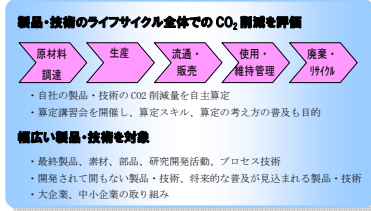
## ● 低CO2川崎ブランドの推進

市内に蓄積された環境技術・製品について地球全体の温室効果ガス排出量の削減を推進する視点を踏まえライフサイクル全体でCO2排出量を評価する「低CO2削減川崎モデル」

「低CO2削減川崎モデル」を具体化した「低CO2川崎パイロットブランド」を選定

低CO2川崎パイロットブランド'10選定製品・技術

製品・技術名	企業名
ガス絶縁開閉装置(GIS)「G3A-b」	株式会社東芝浜川崎工場
鋼管杭を利用した地中熱利用空調システム	JFEエンジニアリング株式会社
高炉への使用済みプラスチック吹き込み技術	JFEスチール株式会社
「シフォンタンク」	日本原料株式会社
省エネ型UNIXサーバシステム「SPARC Enterprise Mシリーズ」	富士通株式会社
太陽熱空調システム「ソーラークーリングシステム」	東京ガス株式会社
密閉冷却型サーバラック「ファンリテイクアップ」	富士通ネットワークソリューションズ株式会社
フルハイビジョン液晶テレビ「REGZA」LEDバックライト制御技術	株式会社東芝研究開発センター
高効率発電設備からの蒸気供給事業「スチームネット」	川崎スチームネット株式会社



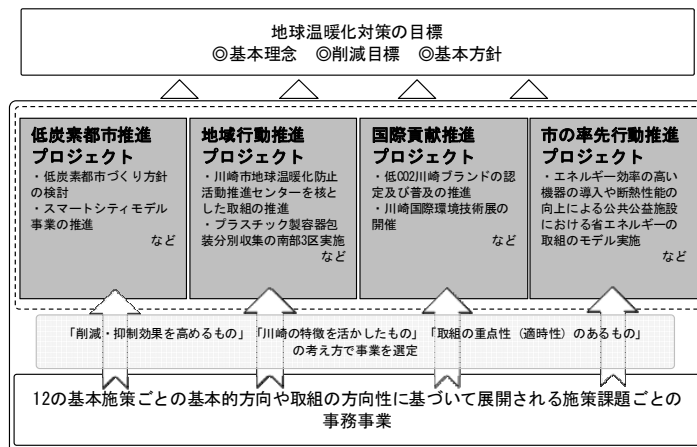
# 川崎市地球温暖化対策推進実施計画

第1期間：2011年度～2013年度

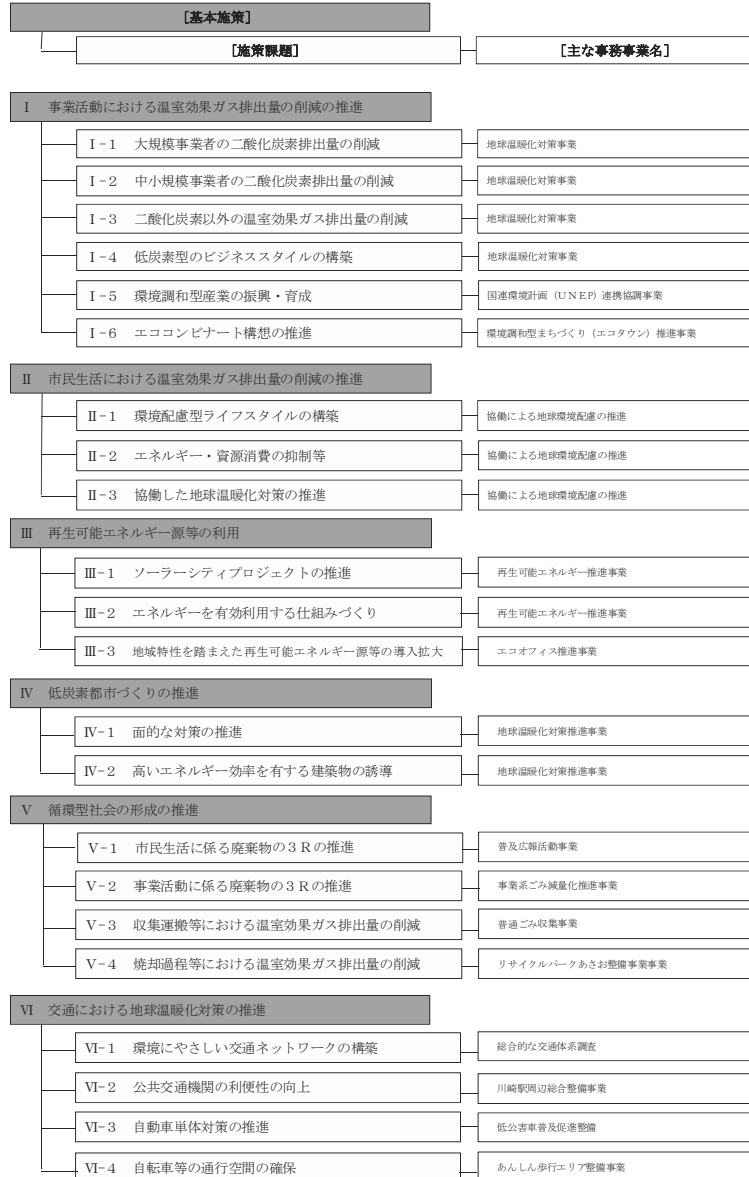
本市の事務事業のうち、地球温暖化対策の推進のために実施する事務事業を12の基本施策に基づく施策課題ごとに位置づけている。

# 重点プロジェクト

## ● 重点プロジェクトの構成

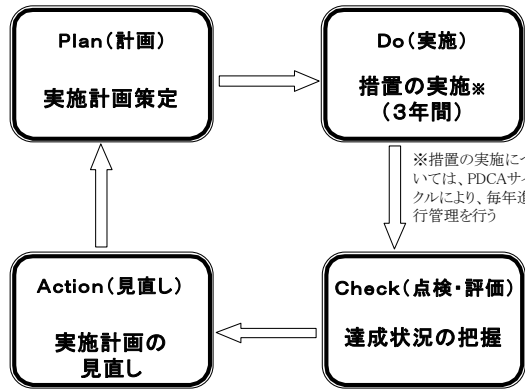


# 実施計画 施策体系図



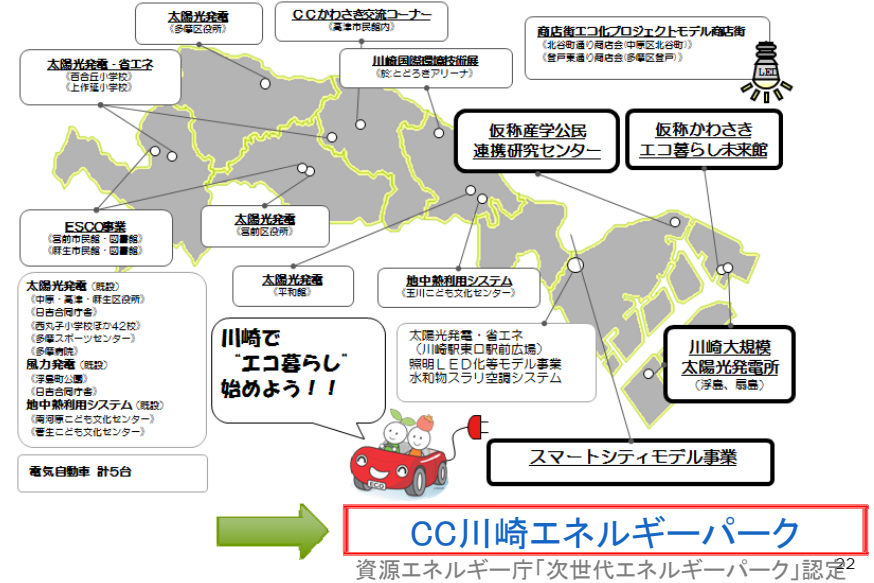
# 計画の進行管理

## ● 基本計画及び実施計画の進行管理イメージ



■ 地球温暖化対策推進計画の電子データは市ホームページで確認いただけます。  
<http://www.city.kawasaki.jp/30/30titan/home/suisinkeikaku/keikaku.htm>

# まち全体の環境技術によるエコ化



# CCかわさきエネルギーパーク

国内最大級の大規模太陽光発電所など、多様な再生可能エネルギー施設を有機的に連携させ、市内全域を「次世代エネルギーパーク」として位置付ける。

## 【パークの特徴】

- ・国内最大級の大規模太陽光発電所や、地中熱利用、マイクロ水力発電など、多様な再生可能エネルギー施設が立地する。
- ・各施設を有機的に連携させ、先端環境エネルギー技術のショーケースとして広く情報発信を行う。



# 節電対策について

## ● 川崎市電力不足対策基本方針について (平成23年5月17日策定)

### ○ 策定趣旨

首都圏における電力不足に対応し、安全・安心な市民生活や安定的な経済活動を確保しながら、計画停電の実施を回避するため、「市民・事業者と行政が一体」となって計画的に節電等の取組を実施する。

### ○ 方針のポイント

- ・市民・事業者・行政が一体となった対策の推進
- ・市役所自らは率先行動として、国で定めた15%以上の削減を推進
- ・レベル1からレベル3に区分し、レベルごとに具体的な取組を推進

- レベル1：当初から継続的に実施する取組
- レベル2：電力需給状況等を踏まえ、計画的・選択的に実施する取組
- レベル3：電力需給が逼迫した場合に機動的・緊急的に発動する取組

### ○ 節電対策の視点

- ①省電力化、②電力消費の平準化、③総電力化、④電力セキュリティの確保

## 参考

川崎市電力不足対策基本方針  
 電力需給に関する検討会合

<http://www.city.kawasaki.jp/30/30tsuisu/setuden.html>

[http://www.meti.go.jp/earthquake/electricity\\_supply/0325\\_electricity\\_supply.html](http://www.meti.go.jp/earthquake/electricity_supply/0325_electricity_supply.html)